

造影X線検査またはMRI検査を受けられた方へ

1. 造影X線検査（CT、IVPなど）を受けられた方

造影剤を用いてX線検査を受けられた方の中には、検査終了後に遅れて軽い副作用がみられる場合があります（遅発性副作用）。症状が出るのは検査後1時間程度から数日後まで幅がありますが、造影検査を受けられた方の約8%に認められます。

遅発性副作用は一般に軽い症状が多く、頭痛、吐き気、めまいなどの主観的な症状と、発疹、かゆみ、じん麻疹などの皮膚症状が中心で、治療を必要とするものは少ないとされています。多くは検査後数時間以内に発生し、症状出現後数時間以内に消失します。皮膚症状はやや遅れる傾向にあり、数日後に見られる場合もあります。極めて稀ですが、ショックやアナフィラキシー様症状などの、重い副作用が遅れて出る場合があることも報告されています。

2. 造影MRI検査を受けられた方

造影剤を用いてMRI検査を受けられた方の中には、検査終了後に遅れて軽い副作用がみられる場合があります。（遅発性副作用）。症状が出るのは検査後1時間程度から数日後まで幅がありますが、現時点でその頻度は判明していません。

遅発性副作用は一般に軽い症状が多く、頭痛、吐き気、めまいなどの主観的な症状と、発疹、かゆみ、じん麻疹などの皮膚症状が中心で、治療を必要とするものは少ないとされています。極めて稀にショックやアナフィラキシー様反応（例えば呼吸困難や血圧低下）などの重い副作用が遅れて出る可能性もあります。

造影剤の遅発性副作用に関するご相談・受診は担当医師または下記までお願いいたします。

聖マリアンナ医科大学病院 救命救急センター

TEL 044-977-8111 内線 5105・5106